

# ae 社協だより

～ふれあいネットワーク～

第25号 2014  
平成26年4月15日発行

編集・発行：社会福祉法人 伊佐市社会福祉協議会  
【菱刈本所】伊佐市菱刈前目711-1(まごし館) TEL:0995-26-4120  
FAX:0995-26-4783 E-mail:kotob019@po.minc.ne.jp  
【大口支所】伊佐市大口元町14-1 TEL:0995-23-0011  
FAX:0995-23-0135 E-mail:ookuchicityshakyou@violin.ocn.ne.jp



暮らし安心・地域支え合い推進事業 重留西地区協議会



始良伊佐地区 災害時相互応援協定締結式



小さな親切運動 表彰式



鹿児島県グラウンド・ゴルフ大会寄贈

## 目次

- P1…平成26年度事業計画、予算
- P2…伊佐市社協の事業紹介(祭壇貸付事業、高齢者等訪問給食サービス)
- P3…暮らし安心・地域支え合い推進事業の紹介
- P4…始良伊佐地区社会福祉協議会 災害時相互応援協定締結式
- P5…鹿児島県グラウンド・ゴルフ大会様寄贈、小さな親切運動表彰式
- P6…香典返し・篤志
- P7…ふれあい・いきいきサロン、心配ごと相談、ボランティア保険

# 平成26年度 事業計画

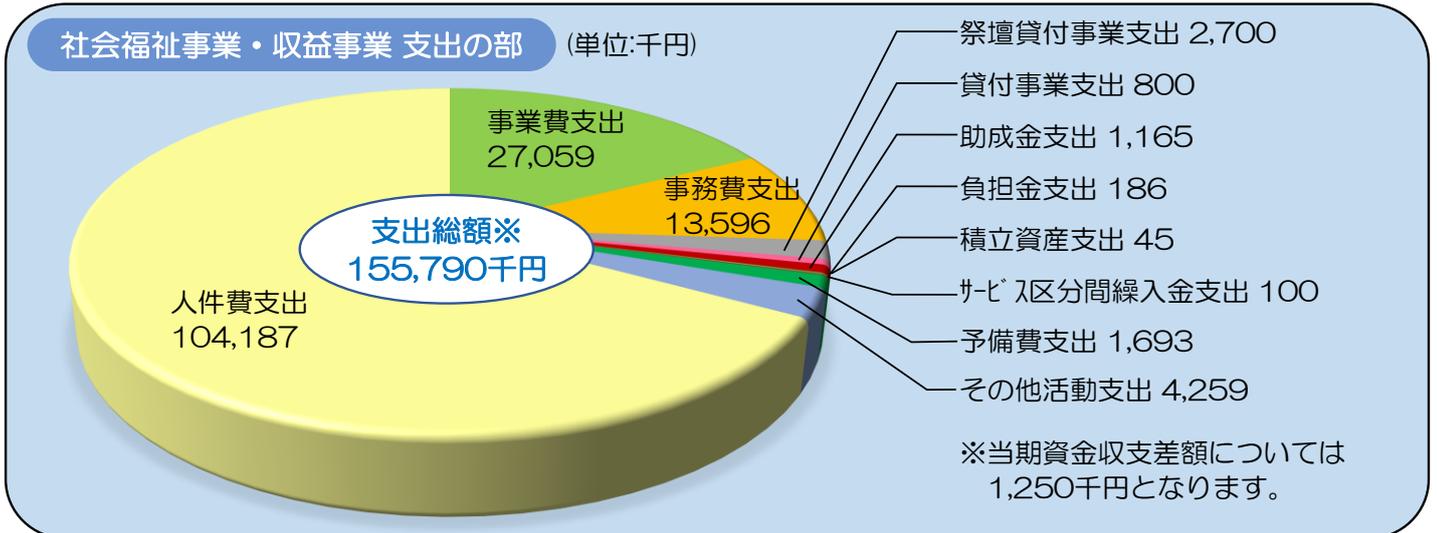
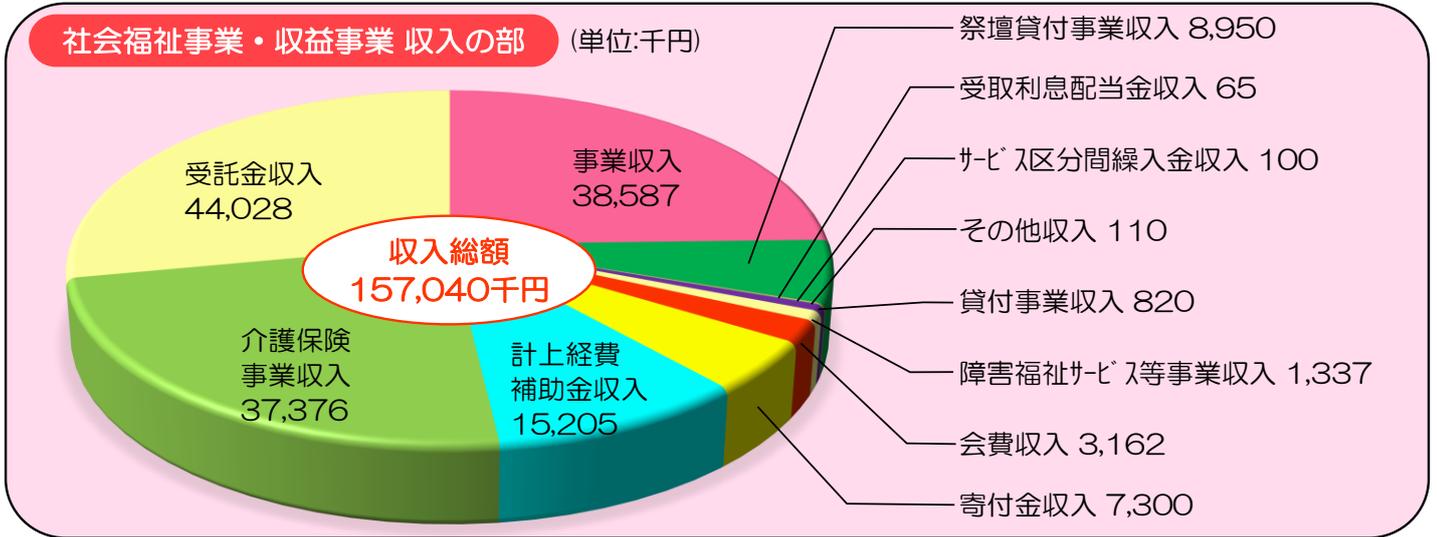
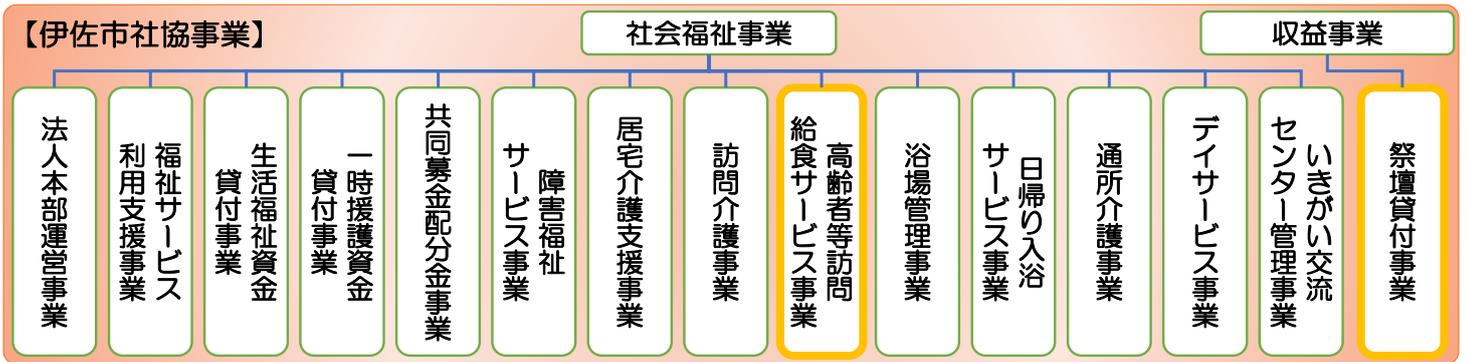
去る3/28(金)に当市社会福祉協議会の平成26年度予算等に関わる理事会及び評議員会が開催され、全ての議案が承認されました。

主な内容は、平成27年度から社会福祉法人の会計基準が新たに定められ適用されることから、当市社会福祉協議会は先だって経理規程の全面改正を行い、新会計基準に基づいた、平成26年度各事業の資金収支予算に移行致しました。

これまでどおり、地域の現状などを点検しながら、事業の調整や組織体制の整備など進め、新たな視点で事業を展開し、さらに福祉サービスの充実に努めて参ります。

尚、本年度も、本県社会福祉協議会が提唱している、暮らし安心・地域支え合い推進事業(詳細はP3参照)や地域福祉活動の推進に努めるとともに、市社会福祉協議会の全般的な将来像を展望しながら、事業全体の効率化を図りつつ経費削減にも努め、今年度も引き続き、地域福祉活動計画に基づいた事業に取り組んで参ります。下記に全事業項目及び予算を一括して報告致します。

※下記表、 については、P2にて詳細を記載



# 伊佐市社協の事業紹介

## 高齢者等訪問給食サービス

栄養バランスのとれた昼食・夕食をご自宅までお届けし、同時に利用者さんにお声掛け・見守りをさせて頂く事業です。多数の方にご利用頂いております！

- ◆対象の方 : おおむね60歳以上
- ◆ご利用料金 : 1食650円(税込)
- ◆配食日 : 月～土(日・祝休み)

昼食のみ、夕食のみ、昼食、夕食両方等希望に応じてご利用ください！まごころ弁当♪をお届けしますよ～♡



☆新たな取り組みを5/1(木)から始めます！！☆

おかずのみ(ごはん無し)で1食550円(税込)

※従来通り、  
ごはん有りの弁当  
650円も承ります。

詳しくは下記にお問合せください！

☎26-4120(菱刈地区)、23-0011、22-5606(大口地区)

## 祭壇貸付事業

～祭壇貸付事業のご案内～

【問合せ先】

伊佐市社協:26-4120

携帯:090-2714-3317(肥後)

低料金でご葬儀一式を承ります。

祭壇使用料	ご自宅葬	<b>45,000円</b>
	斎場(ひしかり苑)	<b>35,000円</b>

※祭壇をご利用の際は、右上記載の問合せ先までご連絡ください。

ご葬儀打合せ、納棺、司会進行、各種手配・お世話等申し付けください。また、ご不明な点があればお問合せください。

経済的軽減、諸々の手配等、全ての宗派に対応し、ご相談に応じます。尚、事前見積も致します。右上記載の問合せ先までご連絡ください。

香典返し(記念品)

◆お茶A :550円

◆お茶B :450円

◆お茶金封セット:450円

※記念品のみ1カ月以内は返品可能です。

その他販売品

◆お通夜ローソク:1,000円

◆後飾り(三段) :3,000円

◆テント貸出(有料)

# “みなさんの地域で「支え合いマップづくり」をはじめませんか？”

## 【事業の概要】

高齢者等が地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、在宅で生活する高齢者等を地域住民の支え合い(ボランティア)活動により、地域全体で支える仕組みを構築する。



### (住民主体の地域福祉の推進)

地域の課題発見  
(支え合いマップづくり、住民座談会等)



見守り活動

生活支援活動



(一次支援)

・見守り、声かけ、安否確認など

(二次支援)

・ゴミ出し、草むしり、電球交換、買物など



## 【市の高齢化等の状況】

伊佐市の人口は、平成26年2月末現在、28,651人、世帯数14,080世帯、65歳以上の高齢化率は約37%の状況であります。  
推計人口では今後も人口は減少し、高齢化率も40%を超えることが予測され、75歳以上の後期高齢者の割合も年々増加していくことが予想されています。

### 高齢化社会



## 【地域にはこのような課題が・・・】

- 一人暮らし高齢者世帯…疾病がある。足が不自由。認知症。引きこもり。孤独など。
- 高齢者夫婦世帯……………夫が疾病のため、妻が介護疲れなど。
- 寝たきり世帯……………母又は父が寝たきりで、娘が介護疲れなど。



## 【支え合いマップづくりとは？】

地域における要援護者(気になる人)とそれに関わる人を線で結び、マップ(住宅地図)に落とし込むことで見えてくる住民のふれあい、助け合いの実態や福祉課題を把握し、そこから得られる取り組み課題(解決策)を探るための一つの手法です。

## 【今、なぜ「支え合いマップ」が必要か？】

公助(公的サービス)だけでは対応できない課題が多く発生しています。孤立や孤独の問題、日常生活上のゴミ出しや足腰が弱って買物に行くことがとても辛いなど、このような課題に対応できるのは「住民の支え合い」(共助)です。身近な地域の中に隠れている支援の欠けている人や福祉資源(人や活動など)を把握する手段として、「支え合いマップづくり」は有効です。

## 【支え合いマップづくりで調べること】

- ・どこにどんな要援護者・要介護者(又は、支援が必要と考えられる人)がいますか？(一人暮らし高齢者や老老夫婦、障がい者など?)
- ・支援を必要とする人に誰がどのように関わっていますか？(どんな支援?見守り?お手伝い?)
- ・近所で助け合いを仕切っているキーパーソン(世話焼きさん)はいますか？
- ・支援を必要とする人は、身を守るために自分でどんな努力(行動)をしていますか？
- ・皆さんが寄り集まる所(ふれあう場所)はどこですか？(誰かの家、畑など)
- ・近所にどんな生活課題がありますか？(高齢化、独居、買い物、病院、交通手段など)



支え合いマップづくりの様子

## 【Q&A】※暮らし安心・地域支え合い推進事業に、よく寄せられる質問等

(Q1) マップづくり対象地域の規模はどれくらいですか？

(A1) 50世帯程度と考えています。

(Q2) マップづくりに参加する人(聴取の対象者)はどういう方ですか？

(A2) 自治会長・民生委員・世話焼きさんなどで、高齢者等の状況を把握されている方をお願いしたいと考えています。

(Q3) 「地域全体で支える仕組みを構築する。」とはどのようなことですか？

(A3) ご近所福祉活動(又は自治会活動)での、お互いの助け合いによる見守り支援体制の仕組みづくりです。

～広域地域で助け合い！～

## 始良伊佐地区社会福祉協議会 災害時相互応援協定締結式

去る3/12(水)、かごしま空港ホテルにて、霧島、始良、伊佐、湧水の4地区の社協で災害時相互応援協定を結びました！！(南日本新聞 3/17[月]朝刊に掲載)

災害時に災害ボランティアセンター等の運営支援に職員派遣や資機材の提供などを行い、いち早く協力体制が取れるようになりました。

### 災害時相互応援協定の背景

近年、大規模災害が全国各地で頻発しています。その都度、被災地においては社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターは被災地の復旧・復興には欠かす事の出来ない存在となっています。

また、被災地において災害ボランティアセンターを迅速かつ円滑に、継続して運営していく為には被災地の社会福祉協議会を支援する多くのスタッフの応援協力が求められています。

### 広域連携の利点

- ・災害時の要員不足を解消出来る
- ・救援物資の管理が容易となる
- ・災害ボランティアの十分な管理が可能となる
- ・応急対応期の長期化に対応出来る
- ・復興期の継続的支援が可能となる

### 協定締結の意義

- ・広域連携を取る為の事前準備がスムーズとなる
- ・緊急時の素早い広域対応が可能になる
- ・大規模災害時の社会的弱者救済が達成される

今後は、6月中に災害時のボランティアセンター設置訓練を実施予定です。  
上記の広域連携の利点・協定締結の意義を活かしていく為、4地区で協力して不測の事態に備えるよう努めて参ります。

締結式の様子



周防原会長あいさつ



調印書に署名捺印



記念撮影



会場の様子

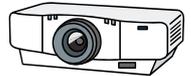
# 鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会様から寄贈して頂きました！



鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会 会長 有川様から伊佐市社協 周防原会長へ目録の贈呈(忠元公園にて)



～贈呈品～



去る3/23(日)、鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会様から、ホールインワン基金の助成として福祉用備品(ノートパソコン、プロジェクタ、モバイルスクリーン)を各1台寄贈頂きました。地域福祉推進をはじめとする今後の伊佐市社協の活動に活かして参ります。

## 小さな親切運動 表彰式



伊佐市社協 周防原会長より 大一会様へ小さな親切実行章を贈呈

第606回  
「小さな親切」実行章を  
社会福祉法人 大一会様が  
受章されました！



表彰を受けられた  
社会福祉法人 大一会様



社会福祉法人 大一会様は、近隣の小学生児童の交通安全啓蒙として、登校時の見守り活動を長年実施された事により受章されました。

大一会の折田様は、長く活動に携わる事で子供たちの成長を見守る事が出来て、それも喜ばしい事だとおっしゃっていました。

小さな親切運動をキッカケに地域・学校・職場など、各々の環境下で、運動から繋がるそれぞれの今後の取組み等について考えるヒントになるといいですね！



お礼の挨拶をされる  
大一会 折田様

# たくさんの善意に感謝いたします。【香典返し・篤志】

～やさしい心をありがとうございます～

社会福祉協議会では、皆様からたくさんのご寄付(香典返し・篤志)をお預かりしております。お預かりしたご寄付は、市民の皆様の福祉向上のために大切に使用させていただきます。今回の掲載は、平成26年1月1日～平成26年3月31日に受け付けたものです。大変失礼ですが、敬称は略させていただきます。香典返し・篤志の掲載、故人・金額は、ご寄付者様のご希望のみ掲載しております。ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。

## 菱刈本所・大口支所受付(順不同)

### 【香典返し】

	自治会	ご寄付者名	故人名	金額(円)		自治会	ご寄付者名	故人名	金額(円)
1	前日麓	清水 妙子	清水 光男		36	里町	高木 則子	高木 武盛	
2	町船津田下	山口 イツ子	山口 忠温		37	上青木西	生駒 敏子	生駒 清人	
3	下市山	栗須 久子	仮屋 フヂエ		38	高塚	東大園 保	東大園 フミエ	20,000
4	本城宇都	小原 公子	小原 千代子		39	石井	原田 義昭	原田 敬子	
5	小原松山	前田 美智子	前田 修似		40	金波田下	岩瀬 清隆	岩瀬 トシ子	
6	花北上	淵脇 淳二郎	淵脇 喜美子	50,000	41	上松	福田 サツ子	福田 義登	
7	田中上	野中 孝子	野中 秘實	30,000	42	川西	西川 昭仁	西川 咲子	
8	愛都	中村 孝正	中村 洋子		43	郡山	野口 秀夫	野口 トミ子	30,000
9	花北	尾前 エミ	尾前 茂行		44	崎山東	内 正美	内 ツル	
10	青木元	末廣 勝子	末廣 澄男		45	松ノ口	永里 アヤ子	永里 春樹	
11	青木元	田淵 憲	田淵 タ子		46	鉱業所	宮里 紀念	宮里 藤子	
12	下手須川	谷口 郁	谷口 祐祥		47	牛尾	山内 静子	山内 優	
13	新町	福留 加代子	福留 ムツ		48	猶原	原口 ミカ	原口 紀二郎	
14	重留西	塩屋 広志	塩屋 ツル		49	上原田	島畑 秋善	島畑 歌子	
15	本城町	河野 久美子	河野 普徳		50	石井	高野 宗継	高野 雪野	
16	本城町	堀之内 茂美	堀之内 正美		51	上之馬場	犬童 輝子	種子島 伊楚子	
17	—	新城 幸雄	新城 マツ子		52	羽山	森園 さつき	森園 チミ	
18	井立田	平江 邦丸	平江 司		53	高塚	有木 富士美	有木 不二男	
19	崎山東	中森 弘美	中森 キクエ		54	水ノ手	尾上 芳子	尾上 功	
20	堂崎	内野 百合子	内野 勝壽		55	石井	榎田 正和	榎田 タマ	
21	須原	小倉 美枝子	小倉 重忠		56	西本町	多賀 光治	多賀 ツユ子	50,000
22	仲町	中山 ヤエ子	中山 惟光		57	諏訪	戸田 銀弥	戸田 照子	
23	木崎	溝口 エツ	溝口 道治	30,000	58	上ノ馬場	長野 亨	長野 サキ	
24	上八坂中央	松永 博志	松永 静子		59	小水流	黒木 武人	黒木 正躬	
25	鹿児島市	成影 治子	成影 務		60	花北上	上原 すゞ子	上原 美智男	
26	牛尾	山内 優	山内 ハルエ		61	西本町	猪谷 艶子	猪谷 シヅ子	
27	小木原中	大川 清己	大川 フジエ		62	上青木西	岩城 勝	岩城 キヨ子	
28	崎山東	白坂 節子	白坂 幸矢		63	小木原東	深見 久野	深見 政郎	
29	下青木	島田 利夫	島田 スミエ		64	牛尾	田中 瑞穂	田中 トミ子	
30	上新町	長濱 チヅ子	長濱 澄郎		65	辺母木	今吉 佳子	今吉 光雄	
31	上目丸	丸山 誠	丸山 トミエ		66	麓	瀬下 茂治	瀬下 洋子	
32	富士	成田 涼子	篠原 スミエ		67	牛尾	新園 富雄	新園 ミエ	10,000
33	鳥巢下	鳥巢 文也	鳥巢 フク		68	上元町	山下 清俊	山下 優子	
34	城下	入木田 英子	入木田 耕二		69	金波田下	今村 清子	今村 定	
35	木崎	大岩 三男	大岩 良子	80,000	70	崎山	橋口 昭夫	橋口 季子	

### 【篤志】

ご寄付者名

匿名(1件)

## ふれあい・いきいきサロンにご参加しませんか？

社会福祉協議会では、ふれあい・いきいきサロン活動を立上げして下さるグループを支援しています。

ふれあい・いきいきサロン活動では活動に欠かせないサロン保険加入等の助成金を交付しております。

安心して[気軽に][無理なく][楽しく]笑いのある、和気あいあいとした時間を過ごす活動です！☆



### ふれあい・いきいき サロンってなあに？



参加者……一人暮らしや家の中で閉じこもりがちな高齢者等とボランティア等

開催場所…自宅から歩いていける場所(公民館・集会場・個人の家等)

活動内容…茶話会、食事、レクレーション、おしゃべり、ゲーム、健康体操等



去る3/18(火)、大口元気こころ館にて、ふれあい・いきいきサロン31グループのボランティア代表者の研修会を開催致しました！県レクレーション協会 坂元克子先生に講習をして頂きました。

参加者からは手軽に出来るレク体験は大変好評でした！

## 心配ごと相談所

心配ごとがありましたら…ささいなことからお問合せください。相談内容等、個人情報厳守します。

ぜひ、ご相談ください！ **相談は無料です！**

悩み続けるより、解決の糸口を  
見つけてみませんか？



### 心配ごと相談日程(5月～12月)

	5月	6月	7月	8月
	7日(水)	4日(水)	2日(水)	6日(水)
菱刈本所		○		○
大口支所	○		○	
	9月	10月	11月	12月
	3日(水)	1日(水)	5日(水)	3日(水)
菱刈本所		○		○
大口支所	○		○	

開催時間 ⇒ 10:00～15:00

※奇数月は大口支所、偶数月は菱刈本所まごし館の開催となります。毎月第1水曜です。

☎26-4120(菱刈地区)、23-0011(大口地区)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成26年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

\*天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

### 補償金額(保険金額)

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円 (限度額)	5億円 (限度額)	

### 年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ*		460円	690円

### 保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこぼした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

●お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社  
TEL:03(3593)6245

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

日本興亜損保と損保ジャパンは、関係当局の認可等を前提として、平成26年9月1日に合併し、「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」になります。

〈NK13-80727 平成26年2月12日作成〉